

令和6年度 事務事業マネジメントシート

事務事業N o.		1-	8
事業名	消防団経費	会計 一般	款 9 項 1 目 2
政 策	8 安全と安心を守るために	課名	総務課
施 策	8-1 消防・防災対策の充実	係名	防災対策室

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	常備消防との連携を図り、消防施設の整備・拡充を推進し、住民の生命・財産を守るとともに、火災の予防対策を充実し、安心・安全で災害に強いまちづくりを行う。
事業内容	常備消防との連携を図り、消防施設の整備・拡充を推進し、住民の生命・財産を守るとともに、火災の予防対策を充実し、安心・安全で災害に強いまちづくりを行う。 非常時に召集し、火災や風水害などの災害活動を行うほか、地域に密着した火災予防広報、応急手当普及活動、自主防災組織等の訓練指導などの予防防災活動を行うことによる人件費。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標		指標名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）
	1	消防団員数	93	96	96	人		98
	2							
	3							
	4							
	5							
				令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（予算）
全体事業費（千円）				19,542		22,265		25,190
財源内訳	うち一般財源			18,973		18,941		24,990

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善＜※主管課長記入＞

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	Ⅱ 継 続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R6年度の改善計画	能登半島地震を受けて常備消防と連携した災害対応訓練の拡充 令和8年度開催の操法大会出場について 消防団の運営について（処遇改善及び団員確保）検討が必要	③取組の課題	年度途中まで団員の定数を満たしていたが、年度末では1名の欠員。翌年度以降も退団に伴う補充が追いついていない。
②R6年度に実施した取り組み	令和8年度の操法大会出場は見送ることを決定。操法大会出場に代わる訓練等により技術の向上を図ることとなった。	④今後の改善計画	令和7年度から三重県消防協会北勢支会桑員支部の活動を新たに開始する。 2市2町で事務局を持ち回り、令和7年度は東員町が事務局となるため、団の活動紹介や団員募集の啓発活動を東員町内で実施予定。